

ごあいさつ



SK松本ジュニア合唱団
団長 芦田勝弘

本日はお忙しい中、SK松本ジュニア合唱団のクリスマスコンサートに御来場頂きまして誠にありがとうございます。

今年もサイトウキネンフェスティバル(SKF)はオーケストラ、オペラと音楽を通して人々に深い感動を与えてくれました。松本市から発信する世界の音楽「SKF」を誇りに、SKの文字を冠した本合唱団は1993年のSKFが初めて上演したオペラ「火刑台上のジャンヌダルク」に出演した児童合唱団を母体に結成されました。団員も徐々に増え小学校1年生から高校3年生までの90名余りの、歌うことの好きな仲間が集まり練習を重ねています。

音楽は聞く人に感動を与えるように造る側にも深い感動をもたらしてくれます。地域や年齢を越えて子供達が集まり、心を合わせて素晴らしい音楽を作り上げる感動を通して、豊かな感性を育み、将来の夢に向かって伸び伸びと育てて欲しいと心から願っています。

関係者のご支援で来年にはもう10周年を迎えるまでになりました。この間内外の一流アーティストとの共演や各種演奏会への出演、福祉施設への訪問演奏などを通して貴重な体験を重ねてまいりました。今年には長野県松本文化会館開館10周年記念コンサートでの長野県交響楽団連盟合同オーケストラとの共演や、松本美術館のオープニング式典での演奏など松本市の各種事業へも参加することもできました。

技術を磨き、仲間を作り、子供たち一人一人がそれぞれの夢を育てています。多感な子供達が歌うことを通しての仲間づくりや、音楽の素晴らしさを実感できる活動を続けていられるのも、長野県松本文化会館や松本市関係の皆様、また温かく見守って下さっている地域の皆様方と、子供達の思いを正面から受け止め、指導して頂いている素晴らしい先生方のおかげと関係者一同心から感謝申し上げます。

これからもSK松本ジュニア合唱団を温かく見守り、育てて頂くことをお願い申し上げます。ましてご挨拶と致します。

本日のコンサートを十分にお楽しみ下さい。